

事業名	家畜衛生対策事業	部局	農政部	課・室	家畜防疫対策室
		実施期間	S25～	E-mail	kachiku-boeki@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	国際化の進展により、特定家畜伝染病が海外から侵入するリスクが高まっている。	令和2年度 補正後額	409,725 千円
		職員数	63.20 人

目指す姿	家畜伝染病の発生予防及び危機管理体制の強化並びに畜産物の安全性の確保推進等により、安全な畜産物の安定供給を図る。 (主な実施内容:防疫演習、監視伝染病等の検査・摘発、農場HACCP取得支援 など)		
------	---	--	--

事業 コスト	区分(単位:千円)				指標及びその達成状況						
		R元年度	2年度	2補正後	No	成果指標	30年度末	元年度末	令和2年度		
									目標値	成果	達成状況
	前年度繰越	10,000	131,884	131,884	①	鳥インフルエンザモニタリング検査数	対象鶏について 100%実施	対象鶏について 100%実施	対象鶏について 100%実施		
当初予算	84,009	278,289	278,289	②	防疫演習の実施	3回	2回	1回			
補正予算	536,811		-448	③	牛海綿状脳症検査数	対象牛について 100%実施	対象牛について 100%実施	対象牛について 100%実施			
合計(A)	630,820	410,173	409,725	④	野生イノシシのCSFウイルス感染確認検査頭数	—	768頭	720頭			
一般財源	460,894	122,650	122,202								
Aの財源											
県債											
国庫支出金	122,999	81,014	81,014								
その他	46,927	206,509	206,509								
決算額(B)	312,699										
概算人件費											
職員数(人)	58.00	63.20	63.20								
概算人件費(C)	469,916	512,046	519,378								
概算事業費(B(A)+C)	782,615	922,219	929,103								

成果指標 設定理由	① 家畜伝染病予防法に基づき、鳥インフルエンザの浸潤状況を把握するため、検査を実施する。 ② 家畜伝染病予防法に基づき、発生時の迅速かつ的確な対応を実施するため、防疫演習を実施する。 ③ 牛海綿状脳症対策特別措置法に基づき、検査対象牛を確実に検査を実施する。 ④ 豚熱(豚コレラ)に関する特定家畜伝染病防疫指針に基づき、野生イノシシ群でのCSFウイルス浸潤状況を把握するため、検査を実施する。
--------------	---

補正により取り組む 事業内容	新型コロナウイルス感染症に伴う事業執行の見直しによる減額
-------------------	------------------------------

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	細事業名	令和2年度 実施内容(予定)	職員数 (人)	令和2年度		
				(補正前)	(9月補正)	(補正後)
1	家畜保健衛生所運営費	家畜保健衛生所の運営	6.50	27,278	-210	27,068
2	家畜伝染病予防事業	監視伝染病の検査、農場巡回指導	23.00	23,573	0	23,573
3	家畜衛生対策事業	防疫演習の実施、畜産農家データベースの更新、慢性疾病等の調査	18.00	22,823	-238	22,585
4	BSE監視検査事業	96か月齢以上の死亡牛全頭と48か月齢以上の起立不能等特定症状のある死亡牛のBSE検査	2.50	7,803	0	7,803
5	CSF対策事業 (R1:豚コレラ緊急対策事業)	飼養豚等へのCSFワクチン接種、野生イノシシ群におけるCSFウイルスの浸潤状況確認検査	13.20	196,812	0	196,812
合計			63.20	278,289	-448	277,841

事業改善シート附表

事業番号 09 05 01	事業名 家畜衛生対策事業	家畜衛生対策事業		令和2年度 実施内容	令和2年度 実施内容(実績)	2年度 実施 状況	農政部		課・室	家畜防疫対策室			備考 (R元事業番号)
		項目	実施 方法				30年度 当初 (千円)	元年度 当初 (千円)		令和2年度			
										要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	
1	家畜保健衛生所運営費	運営費	直接	家畜保健衛生所運営のための経費			26,692	27,115	27,278	27,278	-210		
2	家畜伝染病予防事業	家畜伝染病の検査	直接	監視伝染病の発生及びまん延防止のため、農場立入検査等を実施する。			22,988	23,153	23,573	23,573	0		
3	家畜衛生対策事業	防疫演習等の実施	直接	家畜伝染性疾患に対する危機管理体制強化及び家畜の生産性向上のため、防疫演習の実施、畜産農家データベースの更新、慢性疾患等の調査を実施する。			22,822	26,565	22,823	22,823	-238		
4	BSE監視検査事業	BSEの検査	直接	BSEの清浄性の維持・確認のため、96か月齢以上の死亡全頭と48か月齢以上の起立不能等特定症状のある死亡牛のBSE検査を実施する。			10,027	7,176	7,803	7,803	0		
5	CSF対策事業 (R1:豚コレラ緊急対策事業)	CSFの検査	直接	飼養豚等へのCSFワクチン接種、野生イノシシ群におけるCSFウイルス感染確認検査、CSFまん延防止のため登山道等へ消毒場所設置を実施する。			-	-	197,596	196,812	0		
												131,884	
													131,884
													122,650
合 計							82,529	84,009	279,073	278,289	-448	386,418	

□当初要求 □当初予算案  
 ■補正予算案 □点検